

令和7年度 第1回 北九州市社会教育委員会議

日時 令和7年5月16日（金） 10:00～12:00

場所 北九州市立生涯学習総合センター3階 ホール

1 総務市民局 局長挨拶

2 委員紹介

3 議長挨拶

4 議題

（1）令和7年度 生涯学習推進計画の主要事業について（取組予定） [資料1]

（2）令和7年度 社会教育関係団体補助金について [資料2]

（3）次期「北九州市生涯学習推進計画」について [資料3]

令和 7 年度
生涯学習推進計画の主要事業について
(取組予定)

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度取組み 予定
(1)「学び」と「活動」の 情報提供の拡充 ①「学び」と「活動」の 一元的な情報提供 ②多様な媒体による情報 提供	1	「まなびネットひまわり」（管理運営）	総務市民局 生涯学習総合セン ター	ホームページ「まなびネットひまわり」を活用して、市内の生涯学習に関する学習機会や講師の情報等、様々な情報を一元的に提供し、生涯学習活動の促進を図る。	221	217	233	学んだ成果を自ら活動に踏み出せるよう、「いつでも・どこでも」、学習から活動、活動から学びへとつながられるように情報の一元化に努める。また、「まなびネットひまわり」が多くの方々に利用していただけるように、様々な機会を捉えて周知する。
	2	高齢者いきがい活動支援事業	保健福祉局 長寿社会対策課	高齢者の社会参加やいきがいづくりを促進するため、高齢者の参加しやすいボランティア・生涯学習情報等に関する情報の収集・提供等を行う。	8,834	9,700	12,708	スマホ講座や終活等、高齢者の新たな情報ニーズに対応するとともに、関係機関と連携し、就労支援機能の付加等、高齢者の生涯現役を応援する総合窓口への機能強化を図る。
	3	生涯学習総合センター情報発信事業（旧 生涯学習総合センターだより「まいなび21」の発行）	総務市民局 生涯学習総合セン ター	生涯学習総合センター主催事業や生涯学習関連情報等を掲載した市民向けの情報紙を発行する。	259	予算措置 なし	予算措置 なし	R7年3月北九州LINE公式アカウント作成。「市民カレッジ」「気ままにセミナー」の情報を定期的（基本的には週1回）に発信する。
(2) 気軽に相談できる 体制づくり ①「学び」の相談体制 づくり	4	生涯学習総合センター学習相談事業	総務市民局 生涯学習総合セン ター	施設ボランティアの協力のもと、学習相談コーナーを定期的に開設し、生涯学習に関する様々な相談にきめ細かく対応する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	施設ボランティアの協力のもと、生涯学習相談やパソコンなんでも相談等を毎週実施する。 R6年9月からは、パソコン相談とは別に週1回スマホ相談を実施、R7年度も引き続き実施する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(3) 多様な「学び」の機会 の提供 ①「学び」のきっかけ づくり	5	生涯学習市民講座の 充実	総務市民局 生涯学習課	市民の学習活動を支援し、一人一人が健康で心豊かな生活を送り、個人のいきがいづくりや生活に必要な知識、技術を習得するだけでなく、地域課題や社会的課題を解決するため、各市民センター等で幅広い分野にわたる講座を実施する。	8,966	9,781	9,782	より地域の特色を生かした講座、地域課題解決に向けた講座となるよう市民センター館長研修の充実を図り、多くの方に多様な学習機会を提供していく。 また、オンラインやウェブ動画を活用した講座を実施できるよう、オンライン環境の整備を進めるとともに、市民センター館長・職員等の研修を充実させる。
	6	北九州市民カレッジ 事業	総務市民局 生涯学習総合センター	市民の多様な学習ニーズに対応した生涯学習機会を提供し、自己実現の促進及び「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図る。	2,936	4,134	4,058	現役世代や新規受講者を獲得するため、R6年度前期との比較では、まち・教養系講座のスポットを3講座増、高等教育機関提携コースのスポットを5講座増としている。また、高等教育機関提携コースでは、地域活動につながる講座の開講に向けて各大学等と4月中旬に協議を行った。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ①「学び」のきっかけ づくり	7	北九州ひとみらいプ レイスの充実	総務市民局 八幡西生涯学習 総合センター	各施設の特徴や専門性を生かし、子ども から高齢者まで、年齢、国籍、文化、障害 の有無を問わず、若者成長の支援、あらゆ る世代の学びの充実、さまざまな団体の活 動支援、すべての市民の交流促進に取り組 み、幅広い人づくりを支援する。	3,013	2,600	7,310	「人づくり支援事業」において グローバル人材育成の要素も取り 入れた若者支援事業を実施する。 また、「にぎわい創出事業」の実 施内容について検討を重ね、他団 体との連携や業務委託の見直し等 を行うことにより、効率的な事業 実施とコスト削減を目指す。ひと みらいプレイス構成施設間の連携 強化を図り、多様な層の参加・交 流促進に繋がる事業を行ってい く。
	8	年長者研修大学校 (周望学舎・穴生学 舎)	保健福祉局 長寿社会対策課	高齢者に対して教養、健康、レクリエー ション等の研修の場を提供することによ り、高齢者の生きがいづくり、健康づくり 及び社会活動の促進を図る。修了生の組織 でボランティア活動を実施する。	140,047	146,483	160,760	地域活動を担う人材育成の場と しての機能強化と、新たに就労支 援やDX等の取組みを進めていくこ とを目的として、両学舎合わせて 32コースの講座を開催するととも に、他部局事業との連携強化を図 る。
	9	ESD推進事業	環境局 環境学習課	持続可能な社会の実現に向けて、産学官 民の多様な主体から成る「北九州ESD協議 会」をプラットフォームとして、環境はも とより人権・平和など幅広い視野から総合 的に取り組む人材の育成を図る。 【ESD＝持続可能な開発のための教育】	18,889	16,000	14,000	各委員会（活動委員会、未来創 造委員会、合同委員会）により、 会員が主体となったESDの推進を 促進する。 また、未来創造委員会を中心と した持続可能な社会づくりの主役 となる次世代が主体となって、 ESDに関する各種事業を実施し、 次世代の人材育成に努める。ま た、会員による「出前講座」を通 じて、市民に対するESDの啓発・ 普及を図る。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
（続き） ①「学び」のきっかけ づくり ②ライフステージや多様 性に応じた学習機会の 提供・充実	10	デジタル活用講座	政策局 DX・AI戦略室	社会のデジタル化が進展する一方、2020年市民調査では約25%の市民がインターネットを利用していない状況であり、インターネット未利用理由で上位の「機器操作が難しい」等の課題に対応するため、高齢者等、スマートフォン等の操作に不慣れな方がスマートフォン等の操作にチャレンジするための第一歩となるような講座を市民センターと連携して実施する。	53,442	予算措置 なし	4,600	R7年度は、市民センターでのデジタル活用講座に加え、移動型スマホ教室（スマホなんでもサポート号）の実施や、行政デジタルサービスの市民向け体験イベント等を実施する。
	11	育児サークル・フリースペース活動への支援	子ども家庭局 こども若者育成課	乳幼児の親同士が交流を通じて、自主的な活動を行えるよう育児サークルを支援する。また、自由に参加・利用できるフリースペースの活動を支援するとともに、地域で子育てをしやすいシステムづくり、仲間づくりを支援する。	5,764	5,390	5,922	コーディネーターを継続配置し、子育て支援団体の横の繋がりを、「親子ふれあいルーム」などとの更なる連携を図る取組を実施する。
	12	親子ふれあいルーム運営事業	子ども家庭局 こども若者育成課	子育て中の親と子が気軽に集い、相互に交流を図る場である親子ふれあいルームを運営し、施設の充実や利用日の拡大、相談対応の充実などの機能強化を図る。また、市民センターをはじめ、子育て支援団体、育児サークル等と連携し、ネットワーク化を図るなど、地域における子育て支援に取組む。	37,961	38,627	43,207	親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修の実施や施設整備等、更なる取組を検討していく。
	13	青少年体験活動の啓発・広報の推進	子ども家庭局 こども若者育成課	市や市民団体・NPO団体等が実施している青少年体験活動についての情報発信を行う。	948	824	1,100	掲載団体増に伴い、体験活動情報誌「キッズチャレンジ」ページ拡大予定

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度取り組み 予定
(続き) ②ライフステージや多 様性に応じた学習機会の 提供・充実	14	【新規】 大学生×市民セン ターによる地域共創 プロジェクト	総務市民局 生涯学習課	地域の再生と創造に貢献できる人材の養成を目的とする北九州市立大学地域創生学群の学生を市民センターで受け入れ、定期的な活動を行うことで、実践を通じた学生の地域への理解を促すとともに、市民センター事業の活性化を目指す。			520	大学生の定期的な市民センターや地域活動への参加を通して、大学生が地域に必要と考える講座等を企画する。また、大学生が市民センターや地域住民と協働し、事業を実施する。
	15	北九州市立大学 i-Designコミュニ ティカレッジ	政策局 総務課	当カレッジのためにデザインされた必修科目と、大学の多彩な科目の中から学生と一緒に学べる科目等を選択できるプログラムを提供し、社会人の学び直しを支援する。	大学の予算事業のため予算措置なし	大学の予算事業のため予算措置なし	大学の予算事業のため予算措置なし	R7年度は、「地域創生」、「こころの科学」、「多様な世界との対話」、「社会人のためのデータサイエンス基礎」の4つの領域を開講する。なお、「こころの科学」領域は、昼夜開講を継続する。 次年度、魅力ある新たな領域の開講に向けた準備を進めるとともに、引き続き、広報活動を幅広く行い、より多くの履修生受入れを目指す。
	16	日本語教育体制整備 事業	政策局 国際政策課	日本語でのコミュニケーションが困難な外国人市民のために、日本語教室を運営するとともに、市内で日本語学習支援を行っているボランティアグループ（13団体）との連携や、助成金の交付、広報協力、スキルアップ研修などを実施することで、日本人と外国人の相互理解および学習機会の充実を図る。	10,017	6,530	8,964	引き続き、北九州国際交流協会が直接運営する日本語教室のプログラム強化や市内の日本語教室との連携を図るとともに、外国人受入団体（企業・夜間中学校など）に対する日本語学習支援として、ヒアリングや日本語教師派遣を行う。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
（続き） ②ライフステージや多 性に応じた学習機会の 提供・充実 ③現代的・社会的な課題 の解決に向けた学習機 会の提供・充実	17	社会参加講座開催事 業（障害者福祉会館 の指定管理事業の一 部）	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人の日常生活に役立つ知識の 習得や、社会参加の促進を図る。	1,658	1,716	1,160	引き続き、障害のある人の自立 の援助や生きがいを高める講座を 開催していく。 講座についてのアンケート等を 元に内容を精査し、ニーズに基づ いた講座を充実させることによ り、参加者数の増加を図る。
	18	障害者スポーツ教室 等開催事業	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人がスポーツを通じて体力の 維持・増強、機能回復を図る。	2,360	障害者スポ ーツ振興事業に 含む	障害者スポ ーツ振興事業に 含む	障害者スポーツセンターや障害 者スポーツ協会を中心に、地域で の活動を支援していくとともに、 パラリンピックで注目された種目 を取り入れるなど、障害者スポー ツを通じた共生社会のまちづくり を進める。
	19	北九州市障害者芸術 祭	保健福祉局 障害福祉企画課	障害のある人の芸術・文化活動への参加 を通じて、本人の生きがいや自信を創出 し、社会参加を推進するため、北九州市障 害者芸術祭（ステージイベント、作品展） を開催する。	2,400	2,360	2,360	芸術文化応援センター（東部障 害者福祉会館内）等の関係機関と の連携を強め、事業の周知等を充 実するとともに、関連するイベン ト（ふれあいフェスタ）との一体 的な開催を継続し、魅力的なイベ ント内容とすることにより、参加 者数・来場者数の更なる拡大を図 る。
	20	人権市民講座	教育委員会 企画調整課	人権問題に関する市民の正しい理解と認 識を深めるため、市民センターにおいて人 権学習を推進する。	8,182	7,306	7,306	市民が親しみやすい人権市民講 座等を開催できるように、題材や 学習内容・方法など工夫を行う。 また、講座にとらわれず、ミニ 講話など、日常的に人権啓発に触 れる機会を提供する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
（続き） ③現代的・社会的な課題 の解決に向けた学習機 会の提供・充実	21	企業や地域等での ワーク・ライフ・バ ランスの取り組み支 援	政策局 WomanWill推進室 （旧 総務市民局女 性の輝く社会推進 室）	企業等の事業者に対して、仕事と子育て 等との両立への理解促進や働きやすい職場 環境づくりを働きかける。 また、毎年11月をワーク・ライフ・バラ ンス推進月間とし、その意義や必要性を企 業等事業者や市民に周知する。	3,069	4,359	2,250	仕事と生活の両立が図られてい ると感じる人の割合が上昇するよ うに、表彰の実施や企業へのセミ ナー講師の派遣、各種セミナーの 開催等、企業への支援を継続して 実施するとともに、事業の效果的 なPRを図る。
	22	読み聞かせ・読書ボ ランティア養成講座	教育委員会 子ども図書館	読書を通して、子どもの豊かな感性と知 的好奇心を育むため、読み聞かせなどが行 えるボランティアの育成を図る。	250	311	266	読書をする子どもを増やすに は、大人の協力は欠かせない。子 どもが読書活動に親しみ、読書の 大切さを知ることができるよう、 力強く支える大人を増やし、市立 図書館や学校など市内で活動して いる読み聞かせボランティアなど 読書に係るボランティアの育成、 連携支援に取り組む。
	23	・DIG（住民参加型 災害図上訓練） ・HUG（避難所運営 ゲーム）	危機管理室 危機管理課	DIG（ディグ）は、参加者が自分たちの 住むまちの地図を囲み、書き込みを行いな がら議論することで、わがまちに起こりう る災害像をより具体的にイメージできる訓 練。 HUG（ハグ）は、避難所に見立てた模造 紙や避難者に見立てたカードなどを活用 し、参加者がプレイヤーとなり、避難所で 起こる様々な出来事に対してゲーム感覚で 避難所の運営を学ぶ訓練。	355	480	480	市のホームページやSNSでの広報 等を通じ、広く市民へ参加を呼び 掛け、事業展開していく。 また、中学生を対象としたJ- DIGの実施についても参加校を増 やせるように、教育委員会と連携 し、効果的に取り組んでいく。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
④生涯学習実施機関の ネットワークによる 学習機会の充実	24	学びから活動への仕 組みづくり	総務市民局 生涯学習総合セン ター	行政や大学など様々な学習の場で、学んだ人にアンケートを行い、「学んだ成果を活動に活かしたい」と答えた人を、市民センターや市民活動推進課、ボランティア・市民活動センターを通じて、活動を行っている団体（自治会・まちづくり協議会、NPO、ボランティア等）へとつなぐ事業を実施する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	市民カレッジの講座単位にメーリングリストを作成、受講後のアンケートや情報提供などのフォローを行うことで、学びから活動への取り組みを推進する。
(4) 学びと活動の場づくり ①学んだ成果を生かす 仕組み	25	「まなびネットひまわり」（講師登録及び依頼）	総務市民局 生涯学習総合セン ター	「まなびネットひまわり」の機能である講師登録及び、講師を依頼したい人と登録講師とのマッチングをすることで「学び」と「活動」の循環を目指す。	番号1「まなびネットひまわり」を含む	番号1「まなびネットひまわり」を含む	番号1「まなびネットひまわり」を含む	講師情報の活用並びに講師登録数を増やすため、様々な機会を捉えて周知する。
	26	市民センタークラブ	総務市民局 生涯学習課	生涯学習市民講座終了後、さらに継続的な学習を希望する人々で作られたクラブや自主的なサークル活動からスタートしたクラブ活動を支援、促進する。	予算措置 なし	予算措置 なし	予算措置 なし	R6年度に引き続き、要項改正による影響や効果を検証するとともに、市民センター利用緩和による影響も注視していく。
	27	【新規】 サステナブルアクション推進事業	環境局 環境学習課	市民向けに、環境に配慮した行動への変容を促すことを目的に、環境イベントの実施や電子ポイントの活用により、市民の具体的な行動変容を促す。			11,908	環境イベントの実施や電子ポイント制度の実施を検討している。
	28	美術館企画展充実事業	都市ブランド創造局 美術館	美術館において、多彩で魅力ある展覧会を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	154,190	110,025	108,818	50周年記念事業の成果を弾みとして、さらなる集客増に向け質が高く、独自性豊かな企画展（5回）を開催する。

施策の柱1 誰もが気軽に「学び」と「活動」に参加できる環境づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(続き) ②生涯学習関連施設の 整備	29	博物館企画展・特別 展充実事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	入館者の増加につながる、魅力ある大型 特別展を開催し、さらなる賑わいの創出を 図る。	54,412	55,500	71,275	入館者の増加につながる、魅力 ある大型特別展を開催し、東田地 区のさらなる賑わいを創出する。 また、令和7年度が昭和100年に当 たることから、昭和の時代をおも ちゃで振り返る企画展を開催す る。
	30	平和のまちミュージ アムの運営	総務市民局 平和のまちミュージ アム事務局	戦争被害、戦時下の人々の暮らし等に関 する資料の収集、保存、展示等を行うこと 等により、戦争の悲惨さを伝え、もって市 民が平和の大切さや命の尊さを考えるきつ かけとする。	40,691	22,953	25,652	集客力のある企画展・イベント 等を実施し、平和のまちミュージ アムへの更なる来館者増を図ると ともに、学校や地域と連携し、平 和学習の拠点施設としての機能向 上を図る。 また、戦争体験や戦時資料の保 存・継承にも努める。
	31	北九州市科学館ス ペースLABO運営経費	都市ブランド創造局 科学館	北九州市科学館スペースLABOを魅力ある 施設として運営することにより、将来を担 う技術系人材の育成を図るとともに、修学 旅行生や観光客を呼び込むことで、東田地 区全体の賑わいに寄与する。	472,889	503,632	525,864	スペースLABOの運営を通じて、 将来を担う技術系人材の育成を進 めるとともに、幅広い世代の来館 を図るため、近隣施設と連携した 取組を実施し、東田地区全体の活 性化にも務める。
	32	折尾まちづくり記念 館の運営	総務市民局 地域振興課	折尾のまちづくりの歴史に関する情報の 収集及び提供を行うとともに、住民等の交 流及び自主的活動の場を提供することによ り、折尾のまちづくりを推進する。	17,510	17,510	17,510	【指定管理】 施設の設置目的への理解度を深 めるとともに、体系的で計画的な 事業の展開を行う。 また、折尾のまちづくりに資す る施設として、まちづくりの視点 で、地域との連携の強化を図る。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し た内容または令和7年度の取組み 予定
(1)「学び」と「活動」を通じた人材の発掘・育成 ①地域ボランティアの 発掘・育成	33	ボランティア活動推進事業 （旧 地域福祉ボランティア研修事業＋ボランティア活動促進事業）	保健福祉局 地域福祉推進課	災害ボランティアセンターの運営、ボランティアコーディネート、ボランティア団体の活動支援、関係機関との連携、情報収集・発信、講座等を実施。ボランティアの研修から活動支援までを一体的に支援する。	30,934	25,300	49,720	研修受講後に実際の活動につながるまでの一貫した支援を行い、市民のボランティア・市民活動への参加を促進し、地域福祉の向上をより一層図っていく。
	34	NPO・市民活動促進事業	総務市民局 市民活動推進課	市民主体のまちづくりを推進するため、市民活動サポートセンターを拠点として、NPO・市民活動や協働等に関する相談・助言、情報提供、講座の開催、NPO法人設立・運営支援などを行う。	15,890	17,397	20,867	NPO・ボランティア活動の促進や市民活動団体等との協働促進のため、市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動の側面的支援を行う。
	35	みんな de Bousai まちづくり人材育成事業	危機管理室 危機管理課	大学と協働し、防災科目を新設するなど、市内の大学生を対象に、防災教育を実施し、学生自身が災害時に主体的に判断し行動できる知識を身につけ、地域コミュニティにおいて新たな地域防災の担い手として活動できる人材を育成する。	438	1,608	1,314	引き続き、対面での授業に加え、オンラインでのライブ配信やアーカイブ配信を行い、学生に多様な学習の機会を提供することで、地域防災を担う人材の育成を行う。
	36	子育てネットワークの充実	総務市民局 生涯学習課	子育て中の親子を温かく迎え入れ、身近な相談相手になるとともに、親子同士をつなぎ、親子の成長を地域で見守る環境づくりのため、「子育てサポーター」を育成する。	488	270	270	子育てサポーター登録者数の増加及びフォローアップ研修の内容の充実を図る。 子育てサポーター養成後、実際の活動につながるよう、子育てサポーターが活躍できる講座の開講や活動の場の提供など、活動の充実を図る。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 (千円)	R6年度 予算額 (千円)	R7年度 予算額 (千円)	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
②地域リーダーの発掘・育成	37	住民主体の地域づくりの促進	総務市民局 地域振興課	地域コミュニティの重要性の理解促進を図ることを目的とした各種事業を通じて、住民主体の地域づくりを促進する。	652	2,006	2,312	地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくり協議会や、地域で様々な取組を行う各種地域団体等に対し、各種支援事業などの地域ニーズに応じた施策を展開する。
	38	地域力アップセミナー	総務市民局 生涯学習総合センター	地域への帰属感や連帯感を共有でき、学んだ成果を地域で活かすことができる人材の育成を目的としており、受講生が自ら学習し、主体的に関わることで地域づくりを実践的に学ぶ講座となっている。	柱1番号6「北九州市民力レッジ事業」に含む	柱1番号6「北九州市民力レッジ事業」に含む	柱1番号6「北九州市民力レッジ事業」に含む	実施方法、回数、時間とも昨年度と同様に開催。今年度は新たに「対話」と「伝える」を重視して、新たな講師を招聘する。特にファシリテーションについては、R6年度よりも倍の時間をかけて講義を実施する。
	39	健康づくり推進員養成・活動支援事業	保健福祉局 健康推進課 (～R6：認知症支援・介護予防課)	市民主体の健康づくりを推進するため、地域における健康づくり活動のリーダーの育成を行う。	3,884	3,918	4,026	地域での健康づくり・介護予防活動を安全に継続できるよう支援を行う。今年度は、高血圧予防・フレイル予防・オーラルヘルスに関する活動を柱とする。
	40	生涯学習指導者育成セミナー	総務市民局 生涯学習課	地域課題に対する地域福祉活動、まちづくり推進活動、子育て活動などに総合的に取り組める、生涯学習を推進するための人材育成を目指す。	750	750	750	講座内容の見直しとより一層の充実、情報周知の強化を行い、受講希望者の増加を図る。
	41	地域における女性リーダー育成セミナー (旧・女性リーダー国内研修)	総務市民局 生涯学習総合センター	人材育成事業の一環として、地域活動の担い手、リーダーを目指す女性を対象に実施するもの。地域活動をするうえで必要な視野や視点を育むとともに、課題解決に向けて自分に何ができるかを考え、行動する力を育む。	101	166	122	R6年度は応募者がなく中止となったため、企画段階から関係課、団体と協議を行い、研修プログラムを作成。また、受講者を確保するため、新たに市政だよりを活用したり、まち協や婦人団体等に対してもきめ細やかに広報を行う。

施策の柱2 「学び」と「活動」による人づくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(2)「学び」と「活動」をつなぐ人材の発掘・育成 ①「学び」と「活動」をコーディネートする 人材の発掘・育成	42	社会教育・生涯学習 関係職員研修の充実	総務市民局 生涯学習課	社会教育施設や市民センター、地域における学習・交流の機会の提供は、現代的・社会的課題の解決に向けてますます重要になってくる。 今後もこれらの施設で、多様かつ有効な生涯学習事業等を推進することができるよう、関係する職員等の研修の充実を図る。	434	639	639	研修の中で、社会教育・生涯学習事業に関する事例発表や市民センターの館長同士、職員同士の情報交換を行う機会を設ける。
	43	生涯学習推進コー ディネーター配置事 業	総務市民局 生涯学習課	全市の生涯学習推進コーディネーターが一堂に会し、意見交換や情報交換を行い、交流を深めることで、より地域の学びと活動を活性化する専門人材となるよう研修会を実施する。	2,501	2,561	2,561	生涯学習推進コーディネーター配置の意義、効果に加え、人材の見つけ方など、市民センター館長に社会教育主事等が助言しながら、配置割合の増加に向け取り組む。 また、生涯学習推進コーディネーターを地域の人材として育成するための研修を実施し、研修で学んだ内容を実践につなげられるように支援を行う。
	44	地域学校協働活動推 進員（地域学校協働 活動事業）	教育委員会 次世代教育推進課	地域等と学校とのパイプ役として、学校の要望に応じて、スクールヘルパー等の人材を発掘し、「地域学校協働活動」を推進する。	柱3番号55 「コミュニ ティ・スクー ル事業」に含 む	柱3番号55 「コミュニ ティ・スクー ル事業」に含 む	柱3番号55 「コミュニ ティ・スクー ル事業」に含 む	地域学校協働活動推進員への研修を行い、地域全体で子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動を推進する。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
(1)「学び」と「活動」による 仲間づくり ①「学び」と「活動」を きっかけにした仲間 づくり	45	家庭教育学級の充実	総務市民局 生涯学習課	家庭の教育力の向上をめざし、保護者が 家庭で子どもの教育をする心構えや、子ど もとの接し方、教育上の留意点などを相互 学習の中で主体的に学習する場として開設 する。	1,546	1,542	1,542	R6年度に行った実施形態の見直 しによる影響や効果を検証してい く。 また、市民センターでの家庭教 育講座等に参加できない保護者向 けの取り組みとして、引き続き家 庭教育力の向上や子育て支援につ ながる動画等をインターネットで 配信し、情報提供を行う。
	46	地域・子ども交流事 業	総務市民局 生涯学習課	地域の特色を活かし、地域ぐるみで子ど もを見守り育てる意識を高めることを目的 に家庭・地域・学校等が連携して、世代間 交流や様々な体験活動の機会を提供する。	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	柱1番号5「生 涯学習市民講 座の充実」に 含む	引き続き、家庭・地域・学校等 が連携した、世代間交流や様々な 体験活動の機会等を提供してい く。 また、工夫した取り組み事例を 市民センターに紹介することで、 事業全体の充実を図る。
(2)つながりから生まれる 地域への愛着・誇り ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	47	伝統文化の発掘・継 承	都市ブランド創造局 文化企画課	指定無形民俗文化財保存団体の継承・保 存活動を育成・支援する。	1,077	938	840	市内の指定文化財について、そ の保存・継承と普及・啓発を支援 するため、相談体制の維持と活動 に関する補助金を交付している。 引き続き、優先順位をつけなが ら文化財の保存・活用に努める。
	48	文化財の保存・継承	都市ブランド創造局 文化企画課	文化財の指定等にかかる諮問機関の運営 等、文化財の保護、適切な管理のための取 組みを推進する。	208	955	14,873	文化財の指定、保存管理、購入 及び埋蔵文化財の発掘調査を実施 し、市内の文化財を保護・活用し ていく。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
（続き） ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	49	博物館セカンドス クール事業	都市ブランド創造局 自然史・歴史博物館	いのちのたび博物館を「第2の学校（教 室）」と位置づけ、博物館への誘致事業・ 学校教育支援事業・家庭教育支援事業の3 つの柱をかけた、学校教育現場と博物館の 結びつきの強化を図る。	1,351	2,300	2,070	R6年度に刷新した団体見学者用 のチラシを活用し、修学旅行等の 誘致活動を強化する。 市民センター等での館外でのイ ベントで、博物館の周知を行い、 集客向上につなげる。 館内授業や出前授業、ICTを活 用したオンライン授業などで、学 校との連携を深め、学校教育支援 に取り組む。 市内・市外の教員を対象にした 教員研修を実施し、社会見学等の 誘致に向けた活動に取り組む。
	50	生涯スポーツ振興事 業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	各区における地域スポーツの普及振興を 図るため、ニュースポーツ用具の整備及び 各種交流大会を実施する。	14,917	14,646	14,646	引き続き、各競技団体への補助 金を通して、スポーツ教室や ニュースポーツ体験会、指導者養 成講座などを継続して実施するこ とにより生涯スポーツの振興を図 る。
	51	総合型地域スポーツ クラブ育成・支援事 業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	子どもたちをはじめ地域の住民が誰で も、どこでも、いつでもスポーツを楽しむ ことができるよう、総合型スポーツクラブ への育成・支援を行う。	2,496	2,400	2,400	R6年度同様、総合型地域スポー ツクラブへの補助金を通して、市 内9スポーツクラブの活動を継続 的に支援する。
	52	北九州マラソン開催 事業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	スポーツの振興やまちのにぎわいづくり を図るため、1万人規模のマラソン大会を 開催する。また、全国から参加するラン ナー等への食のおもてなしやコース沿いに 位置する観光資源を通して、本市の魅力を PRし、シビックプライドの醸成を図る。	87,893	74,040	74,407	初心者でも参加しやすい種目の 検討を行い、市民参加型のイベン トを開催する。また北九州マラソ ン独自の食のおもてなしや、コー ス沿いに位置する観光資源を通し て、北九州市の魅力をPRし、シ ビックプライドの醸成を図る。

施策の柱3 「学び」と「活動」によるつながりづくり

具体的な施策	番号	事務事業	所管課	概要（目的）	R5年度 決算額 （千円）	R6年度 予算額 （千円）	R7年度 予算額 （千円）	令和7年度に向けて強化・見直し した内容または令和7年度の取組み 予定
（続き） ①シビックプライドの 醸成（地域文化、生涯 スポーツ）	53	ホームタウン推進事 業	都市ブランド創造局 スポーツ振興課	本市をホームタウン・準ホームタウン等 とする、トップスポーツチーム等の市民観 戦事業や体験教室の開催など、市民がス ポーツに親しむきっかけ作りを実施。	50,986	58,000	55,000	R6年度同様、トップスポー ツチーム同士の連携を強化し、市民 観戦事業や体験教室の開催など、 市民に愛されるチームになるよう な取組を行うと共に、市民がス ポーツに親しむきっかけ作りを実 施し、市民のスポーツ観戦率の向 上を図る。
（3）学校と家庭・地域が つながる教育力の向上 ①家庭教育支援の充実	54	親力アップ情報発信	総務市民局 生涯学習課	核家族化や共働き世帯など、子どもや家 庭を取り巻く環境の変化に合わせて、い つでもどこでも家庭教育の役立つ情報が得ら れるよう、子育て支援につながる情報提供 を行う。	1,331	1,188	1,188	これまで制作したコンテンツを活 用し、より多くの保護者へ情報が 届くよう、PR等に力をいれると ともに、新たなテーマを追加し充 実を図る。
②家庭・地域・学校の 連携促進	55	コミュニティ・ス クール事業	教育委員会 次世代教育推進課	学校運営及び学校運営に必要な支援に関 して協議する「学校運営協議会」を設置、 地域住民が学校運営への参画を促進し、学 校と地域との連携を促進し、「地域ととも にある学校づくり」を進める。	22,540	27,178	28,000	地域学校協働活動推進員への研 修を行い、地域全体で子どもた ちの成長を支え、地域を創生する活 動を推進する。
③地域における子ども たちの発達・育成を 促す環境づくりと 体験活動の推進	56	地域学校協働活動事 業	教育委員会 次世代教育推進課	多くの幅広い層の地域住民、団体等が参 画し、また、活動を通じて地域社会全体の 教育力の向上を図り、地域全体で子ども たちの成長を支え、地域を創生する活動 を推進する。	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	番号55「コ ミュニティ・ スクール事 業」に含む	地域学校協働活動推進員への研 修を行い、地域全体で子どもた ちの成長を支え、地域を創生する活 動を推進する。
（続き） ③地域における子ども たちの発達・育成を 促す環境づくりと 体験活動の推進	57	青少年ボランティア ステーション推進事 業	子ども家庭局 こども若者育成課	青少年の成長に欠かすことのできない 様々な体験活動等を通じ、青少年が社会の 構成員として規範意識や社会性、協調性等 を身に付けることができるよう、青少年ボ ランティアステーションを拠点に、青少年 の体験活動を支援、促進する。	1,405	1,400	1,400	①令和6年度同様、ホームページ を活用したボランティア情報のさ らなる充実を図る。 ②コロナ禍の終焉に伴い増加して きたイベント関連ボランティアを 通して多くの青少年に活動の場を 提供する。 ③ボランティア実施後に送られて くる青少年の意識をより多面的に 分析して、今後のボランティア企 画に繋げていく。 ④青少年のボランティア活動参加 申請を電子化することにより、こ れまで以上に手軽に申請できるよ うにする。

資料2

令和 7 年度 社会教育関係団体補助金について

令和7年度社会教育関係団体補助金一覧表

(単位:千円)

団体名	1 北九州市婦人会連絡協議会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	400	400	0
団体の活動目的	北九州市各区地域婦人会の発展や安全・安心な地域社会づくりに資するための連絡機関であるとともに、その連携協力により共通の目的達成のために連絡協議する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・機関紙発行事業【300千円】 団体の活動状況を幅広く会員にアピールし、連帯の環を広げるとともに意識の向上を図る。 ・地域婦人会指導者研修事業【100千円】 各種研修会の参加及び研修大会の実施により、各種意見交換や情報交換を行うなど、会員自らが学習し、能力の向上を図る。		
補助金を活用した 活動実績	・機関紙の発行 令和5年度 発行回数:年2回 発行部数:7,000部/1回 令和6年度 発行回数:年2回 発行部数:5,500部/1回 ・地域婦人会指導者研修事業の実施 ・全国指定都市研究集会の実施		

(単位:千円)

団体名	2 北九州市PTA協議会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	1,120	1,120	0
団体の活動目的	子どもたちの心身の健全な発達を願い、家庭教育学級や学年・学級活動などに主体的に参画することを通して、自らが進んで実践する生涯学習活動に取り組む。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・機関紙発行事業【880千円】 広報紙「PTA新聞」を通して、市内のPTAの活動状況を幅広く会員に紹介し、会員の連帯の輪を広げ、意識の向上を図る。 ・各種研修大会参加事業【240千円】 PTA全国大会・九州大会への参加に対する補助を行い、PTA活動への見識を広げ、市内での活動に還元する。		
補助金を活用した 活動実績	・広報紙「PTA新聞」の発行 令和5年度 発行回数:年3回 発行部数:80,000部/1回 令和6年度 発行回数:年3回 発行部数:80,000部/1回 ・日本PTA全国研究大会参加 ・指定都市PTA情報交換会参加		

(単位:千円)

団体名	3 北九州市子ども会連合会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	2,000	2,500	▲ 500
団体の活動目的	子どもたちに生きる力と輝きを育み、体験を通して感動が生まれ、輝く夢を与える活動を行う。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・北九州市子ども会連合会事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・北九州市子ども会連合会所属者のスキルアップ(研修への参加) ・子ども向けイベントの実施(釣り大会など)		

(単位:千円)

団体名	4 日本ボーイスカウト福岡県連盟		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	800	1,100	▲ 300
団体の活動目的	自立心や責任感、リーダーシップなど、子どもたちが「生きていく力」を身に着けることができる貴重な体験の場である野外活動や奉仕活動などを通じて、青少年を育成する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・日本ボーイスカウト北九州地区協議会事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	ちびっこわいわい広場や全国防災キャラバンのほか、日本ボーイスカウト福岡県連盟北九州地区協議会に所属する13団がそれぞれイベント等を実施した。		

(単位:千円)

団体名	5 ガールスカウト福岡県北九州地区		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	250	300	▲ 50
団体の活動目的	一人ひとりの育ちをていねいに支え、行動できる力をはぐくむ。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・ガールスカウト福岡県北九州地区事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営 や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	ワールドシンキングデイの実施や一般参加者と合同でのガールスカウト 技術訓練を実施したほか、ガールスカウト福岡県連盟北九州地区に所 属する4団が、それぞれイベント等を実施した。		

(単位:千円)

団体名	6 門司海洋少年団		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	75	100	▲ 25
団体の活動目的	海洋に親しむ機会を与え、甘えを無くし、責任感のある子を育成す る。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・海洋少年団事業 地域における青少年の健全育成を推進するため、青少年団体の運営 や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・門司港まつり・パレードへの参加 ・海洋少年団全国大会への参加 ・クリーンアップ大作戦や市民いっせい町美化の日での活動		

(単位:千円)

団体名	7 北九州地区(市)少年補導員連絡協議会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	800	1,000	▲ 200
団体の活動目的	各連絡会の相互連携、少年の非行防止及び保護に関する活動など少年の健全育成に寄与する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・北九州地区(市)少年補導員連絡協議会事業 地域における青少年の健全育成や非行防止活動を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	・北九州地区(市)少年健全育成大会の実施 ・児童にカルタ遊びを通じて、社会ルールや決まり事を守る心を育て、少年の安全と少年非行防止を図ると共に、少年補導員同士の親睦を深めることを目的とした事業を各警察署単位で行う。		

(単位:千円)

団体名	8 校区青少年育成会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	300	300	0
団体の活動目的	地域における青少年の健全育成、非行防止のための日常的な活動を推進する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・校区青少年育成会事業 地域における青少年の健全育成や非行防止活動を推進するため、青少年団体の運営や活動に対して補助金を交付し支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	地域総括補助金を受け取っていない4校区に補助金を交付し、それぞれ校区の実情に合わせた青少年の健全育成に関連した行事等を実施		

(単位:千円)

団体名	9 その他青少年育成団体		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	600	600	0
団体の活動目的	青少年の健全育成(NPO団体等)		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・遊びの広場促進事業補助金 異年齢集団での遊びや自然体験、社会体験活動など、地域での体験活動、遊びの広場の輪を広げるため、他の団体・グループ活動の参考になる取組みに対して補助金を交付し活動の支援を行う。		
補助金を活用した 活動実績	むかしあそび(縁日祭2024)51,000円 特定非営利活動法人 あそびとまなび研究所(ねいちゃーぼじていぶ北九州の四季をたのしむ子どもフィールドワークプログラム 2024インクルーシブ編)140,000円 牧山ジュニアクラブ運営委員会(地域で育む子ども達の繋がりを)100,000円 一般社団法人O村CC(まなびバ開拓団)80,000円		

(単位:千円)

団体名	10 (公財)北九州市スポーツ協会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	11,000	11,000	0
団体の活動目的	スポーツを振興して北九州市民の体力向上を図り、健康で明るい市民生活を確立する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・各競技団体の指導育成 ・スポーツ大会の開催及び助成 ・スポーツ指導者の養成 ・スポーツの普及、競技力の向上 ・スポーツ少年団の指導育成 など、市民向けのスポーツ教室・健康教室や指導者養成講習会、選手強化講習会等を実施する。		
補助金を活用した 活動実績	・スポーツ教室、健康教室の実施 スポーツ教室 76教室、健康教室 52教室の計128教室 ・スポーツ少年団の育成指導 登録団体 124団体 団員 2,517名 指導者数 618名 ・各競技団体による指導者養成講習会 25事業 ・各競技団体による選手強化講習会 24事業		

(単位:千円)

団体名	11 北九州市レクリエーション協会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	960	960	0
団体の活動目的	全国レクリエーション活動の先駆者として北九州市のレクリエーションを啓発・普及・拡大する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・レクリエーション活動の普及、大会の開催 ・レクリエーション指導者の養成 ・レクリエーションに関する調査研究 ・レクリエーション団体の指導育成 など、市民向けの教室・大会やレク・インストラクター養成講座等を開催する。		
補助金を活用した 活動実績	・市民向けの教室や大会、講座の開催 31回 ・指導者の養成 参加者数 43名 ・子どもの健全育成にかかる教室・体験 4教室 参加者数105名 ・広報誌の発刊 年2回(4月、11月)		

(単位:千円)

団体名	12 北九州市スポーツ推進委員協議会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	240	240	0
団体の活動目的	北九州市におけるスポーツの推進やその体制の整備を図る。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・各種スポーツ・レクリエーション行事の企画・立案 ・ニュースポーツの普及・振興 など、ニュースポーツ普及のため、スポーツ推進委員を対象に座学と実技研修会を年1回ずつ実施する。また、活動報告として「スポーツ推進委員だより」を年2回発行する。		
補助金を活用した 活動実績	・研修会 【前期】5月12日(日) 出席者57名 【後期】2月9日(日) 出席者95名 ・広報誌「スポーツ推進委員だより」発刊 年2回(9月、3月)		

(単位:千円)

団体名	13 北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会		
予算額 (千円)	R7年度	R6年度	比較(R7-R6)
	2,400	2,400	0
団体の活動目的	市民のスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図る活動を支援する。		
補助対象事業 及び 事業内容(概要)	・総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 市内の総合型地域スポーツクラブの相互の連絡、研修、質の向上のため組織された「北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じ、各クラブへの指導者の育成等の支援を行うとともに、各区クラブ間の交流事業や勉強会等を開催する。		
補助金を活用した 活動実績	・クラブ間交流促進事業 ・クラブ事業促進部会 ・研修部会 3月24日(月) AED研修会 10名参加 ・クラブ協働事業部会 3月16日(日) 出張スポーツ探検隊 150名参加 ・北九州市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の運営		

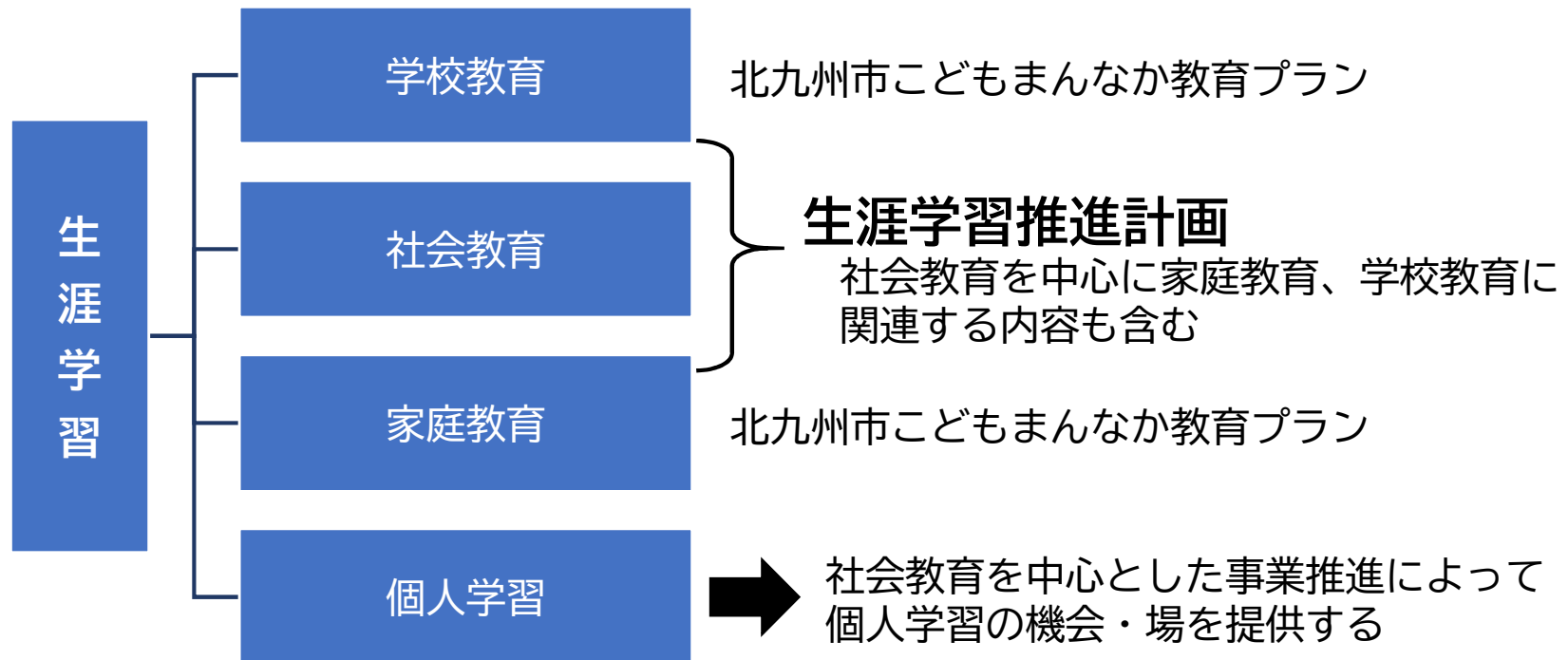
令和7年5月16日 令和7年度 第1回北九州市社会教育委員会議

次期生涯学習推進計画策定について

【計画の位置づけ】

- 北九州市基本構想・基本計画の部門計画の1つ
- 教育基本法第17条第2項の規定に基づく、地方公共団体が定める
「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」

【対象分野】



【考慮すべき社会的背景】

①将来の予測が困難なVUCAの時代の到来

- ・ 社会の変化が速く、予測ができない時代
- ・ 一人ひとりが年齢を問わず、常に学びを通じて幅広い知識・技能と柔軟な思考力を更新しつづける必要

②人生100年時代におけるウェルビーイングの実現

- ・ 人生100年時代を迎え、長期的な視点でより良い人生を考えることが必要
- ・ より良い人生には、心身の健康だけでなく、社会的に良好な状態であることが重要

③進行する人口減少・高齢化、地域コミュニティの希薄化を背景とする地域課題の顕在化、課題の多様化・複雑化

- ・ 既存の組織に基づいた地域コミュニティの希薄化が進行
- ・ 多様化・複雑化する地域課題を解決するだけでなく、課題を発生させない、課題を早期に見ることができる新たなつながりづくりが必要

【進行する社会課題】

◆低い幸福度

- ・ 5年間の持続的幸福度を測ることを目的とした「グローバル幸福度調査」において、22の国と地域中、日本は最下位に。（2025年4月）
- ・ 2025年版の世界幸福度レポートにおいて、147カ国・地域中、日本は55位。G7の中で最下位。

◆孤独・孤立化の進展

- ・ 「人々のつながりに関する基礎調査」では、令和3年度の調査開始以来、孤独を感じている人の割合は4～5割程度。
- ・ 2040年には単身世帯が43%、うち高齢者単身世帯が19%に。（国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）（令和6年推計）」）

◆既存コミュニティの弱体化

- ・ 従来の自治会やPTAといった既存コミュニティの加入率の低下、組織数の減少（北九州市の自治会加入率は30年間で約40%の減少）

【「学び」のニーズ】

◆いつでも、どこでも、気軽に学びたい

人生100年時代、多様なライフスタイルにも対応した、生涯を通じて学び続けられる環境が必要に。

◆変化の激しい社会に対応していきたい

不安定な社会情勢や急速な技術革新など、将来の予測が困難な時代を迎え、生活においても、ビジネスにおいても学び続けることが必要に。

◆豊かな人生を送りたい

人生100年時代を豊かに過ごすために、生涯学習を通じた学びや健康づくり、多様な人とのつながりが重要に。



【「学び」の現状】

◆身近に学ぶ機会・場がない

学習機会が充実していると感じているのは48.1%。

◆学びたいけれど時間がない

学習していない理由の75.3%は「時間がない」。

◆学んだ成果を生かす機会・場がない

学習成果を生かしているのは32.1%

◆学ぶ機会、学んだ成果を生かす機会に関する情報が少ない

生涯学習に関する情報を得ていると感じているのは36.4%

【R6,11,7社会教育委員会議グループワーク】

「今後の生涯学習・社会教育に関する主なキーワード」

<社 会>

- ◆ウェルビーイング
- ◆ジェンダー平等
- ◆レジリエンス
- ◆市民参画・社会参加
- ◆多様性
- ◆協働
- ◆寛容
- ◆不安を話せる・SOSを出せる

<学 び>

- ◆リスキリング
- ◆リカレント教育
- ◆学び合い（互いに教え・教えられる）
- ◆地域教育

<学びで重視するもの>

- ◆対話
- ◆アウトプット・実践

<子どもの学び>

- ◆子どもの活動・体験
- ◆探求心を育む
- ◆子どもの体験格差解消
- ◆子どもを通じたつながり

<シニアの学び>

- ◆シニア世代の地域デビュー

<その他>

- ◆学びを伝える広報活動

【R7,2,10 社会教育委員会議グループワーク】

「生涯学習・社会教育を推進した北九州市の未来イメージ」

(1) にぎわいと個性を活かしたまちづくり

- ・区ごとに個性が生かされた住民が自信を持つまちづくり。
- ・彩りある街や協働型ウェルビーイングを実現される。

(2) 多様性を尊重した社会

- ・北九州市全体で多様性を認め合い、外国人との共生を進める。
- ・多様な主体による社会運営を目指す。
- ・学習を通じてコンパッションを育み、互いを受け入れる街づくりの推進。

(3) コミュニティの構築と支え合い

- ・ゆるやかなつながりを維持しながら、住民が主体となる活動を応援する。

(4) 選択と創造の自由を重視した社会

- ・個人が自分のやりたいことを選択でき、それを許容する社会を目指す。
- ・予測困難な状況にも柔軟に対応できる創造的な当事者を支援する。

【R7,2,10 有識者会議における次期推進計画に対する意見】

（１）具体的な指標よりも方向性を重視する

- ・ 社会の変動が激しい時代において、柔軟性を持った計画が必要。
- ・ 具体的な指標を設定するよりも羅針盤のように大きな方向性や理念を示すことが重要。

（２）施策の柱を明確にする

「ひとづくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」を基軸とし、それぞれがどのように関連し合い、相互に補完し合うかを考慮する

（３）社会教育士等の活躍を促進する

社会教育士や社会教育主事講習を受けた人々が、地域社会で積極的に活動できる場を提供し、その専門性を地域づくりに活かす体制を整える。

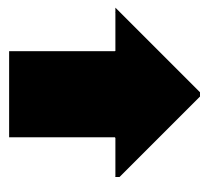
（４）KPIの再検討と多面的評価の検討

- ・ 成果を評価するためのKPIを見直し、定量的な指標だけでなく、質的な評価も取り入れる。
- ・ 学びの深さや行動変容を測る新たな指標の導入を検討する。

【次期推進計画策定の方向性】

有識者会議の意見等を踏まえ、次期推進計画策定の方向性を以下のように定める。

- 社会の変化が激しい時代を迎え、個別の指標を設ける従来の計画では時代の変化への対応が困難。
- 変化が激しい時代だからこそ、羅針盤のように理念や大きな方向性を示すことが重要。



目指す未来へ向けた生涯学習行政の方向性を示す

「北九州市生涯学習ビジョン」 を策定する

- 2040年までのおおむね15年間（2026～2040年）を対象に、北九州市の未来へ向けた生涯学習行政の理念・方向性を示す。
- 理念・方向性を示した上で、本計画では15年間のうち最初の5年間の取り組みを中心に策定する。
- ビジョンは2040年までの15年間を対象としながらも、おおむね5年おきに見直しを図る。

＜次期推進計画が目指すまちの未来＞

学びと活動を通じて、

市民一人ひとり・地域コミュニティ全体の力が引き出され、

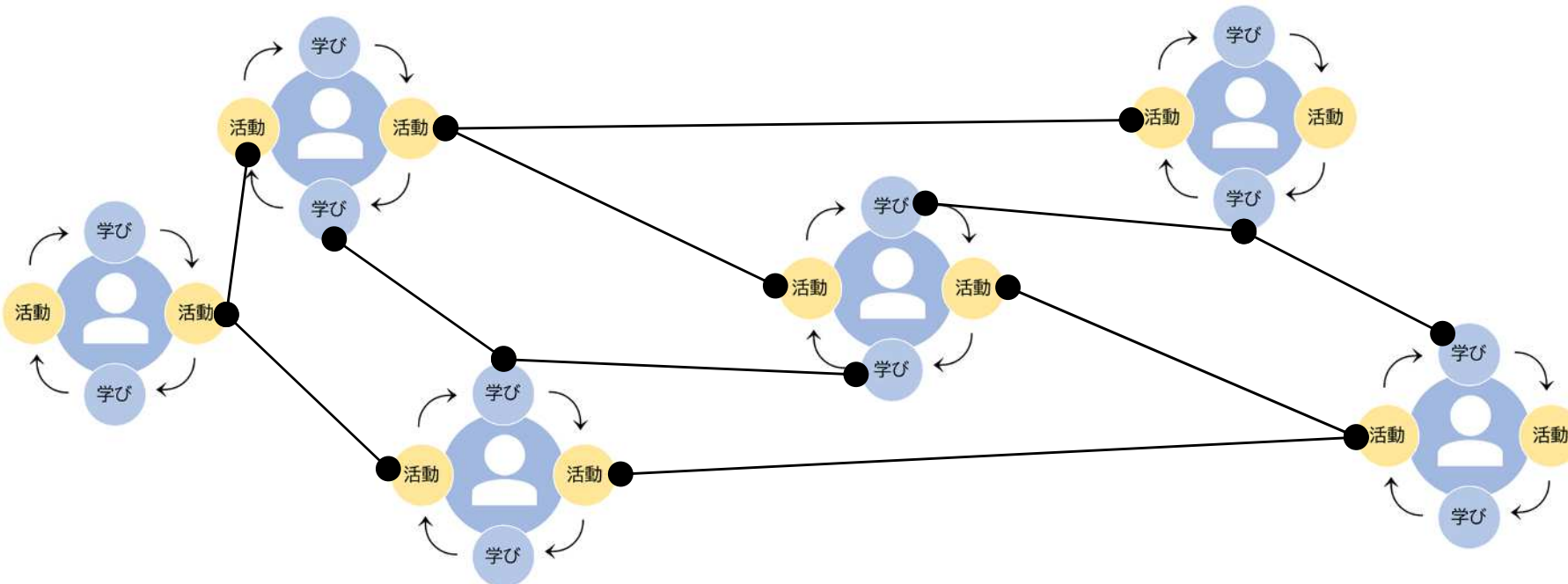
「彩り」にあふれ、「安らぎ」が満ちるまち

＜次期推進計画(ビジョン)のコンセプト＞

- “学び” と “活動” による関係づくりを通じた多様なコミュニティの醸成
- ウェルビーイングの深化を通じた北九州市の未来を創る人材の育成

<次期推進計画のコンセプト①>

“学び”と“活動”による多様なつながりを通じたコミュニティの醸成



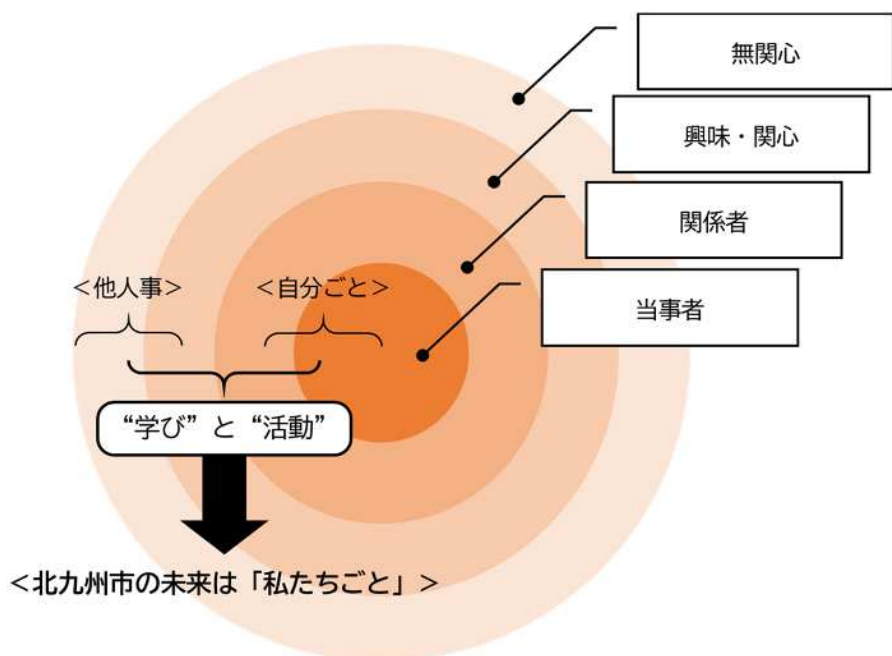
◆地域コミュニティの希薄化や孤独・孤立が社会問題とされる中、“学び”と“活動”による多様なつながりが、持続可能な地域社会を支えていく。

◆地域課題の解決だけでなく、課題を発生させない、課題を早期発見できる地域づくりには、その基盤となるつながりが必要不可欠。

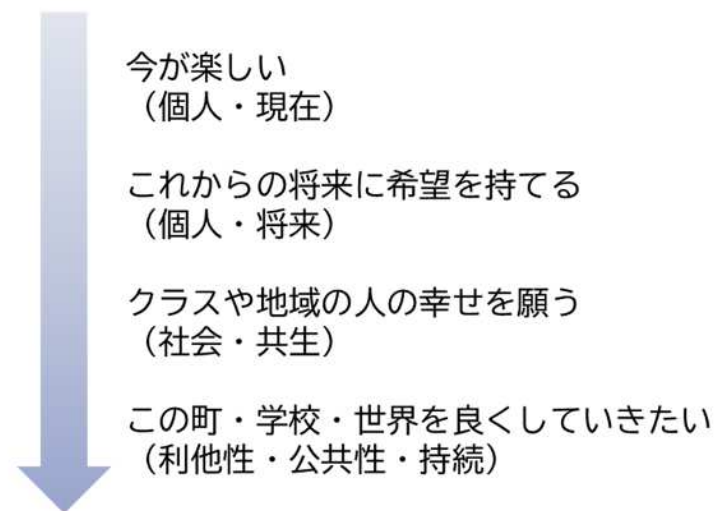
※「コミュニティ」とは、特定の組織や活動団体を基盤にしたものではなく、人と人とのつながりの総体を指す。「地域コミュニティ」とは、おおむね小学校区のエリアを指す。（人々の結節点となる“学び”と“活動”を生み出す市民センターが重要な役割を果たす。）

<次期推進計画のコンセプト②>

ウェルビーイングの深化を通じた北九州市の未来を創る人材の育成



【ウェルビーイングの深化】



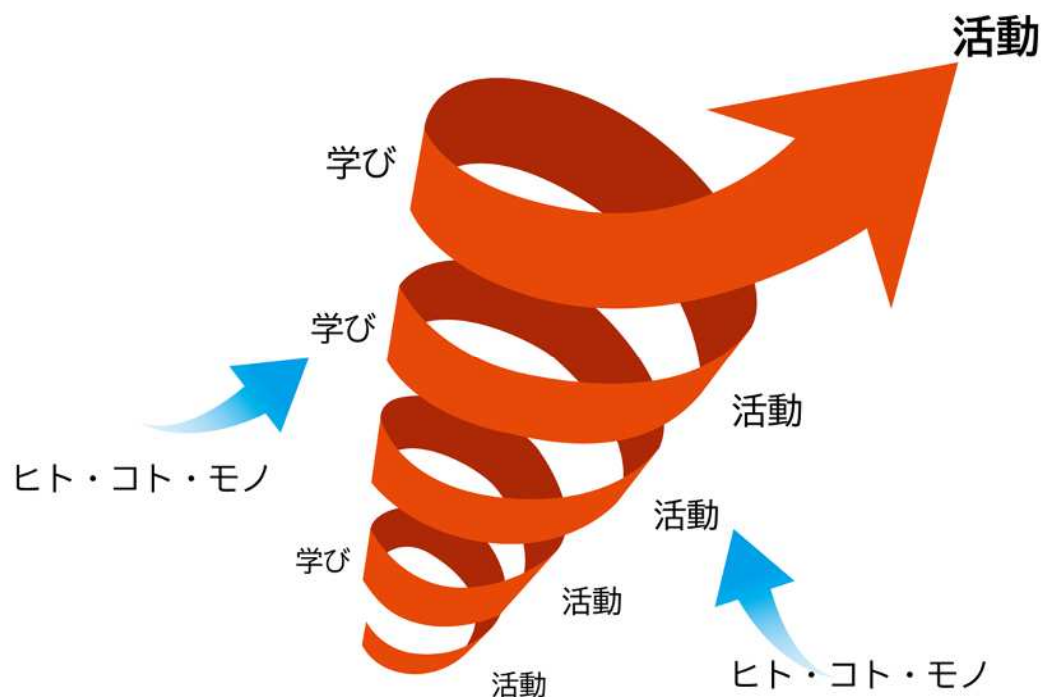
※ “学び” や “活動” を通じて、何かを知り、誰かとつながることで、これまでの「知らない・誰か」のことが、私にも関係や責任がある「私たちごと」へと変化。

※ “学び” や “活動” を通じた「私たちごと」化は、個人・現在のウェルビーイングを、未来へ、社会へと深化し、北九州市の未来を創る人材を育成。

＜次期推進計画の基本方針①＞

自分らしく、生き生きと暮らすことができる

“学び”と“活動”の機会の創出



- ウェルビーイングの向上のための、多様な学びの場の確保
- 多様な学びを提供する環境の整備
- “学び”を生かす活動の場の創出
- “学び”を通じたつながりづくりのための支援

※ “学び” と “活動” の循環は、周囲のヒト（地域の人や関わる人）・コト（地域の暮らしや活動）・モノ（地域の事物や歴史・伝統）を生かしながら、学びが広がり・深まり、よりよい “学び” や “活動” へスパイラルアップしていく。

<キーワード>

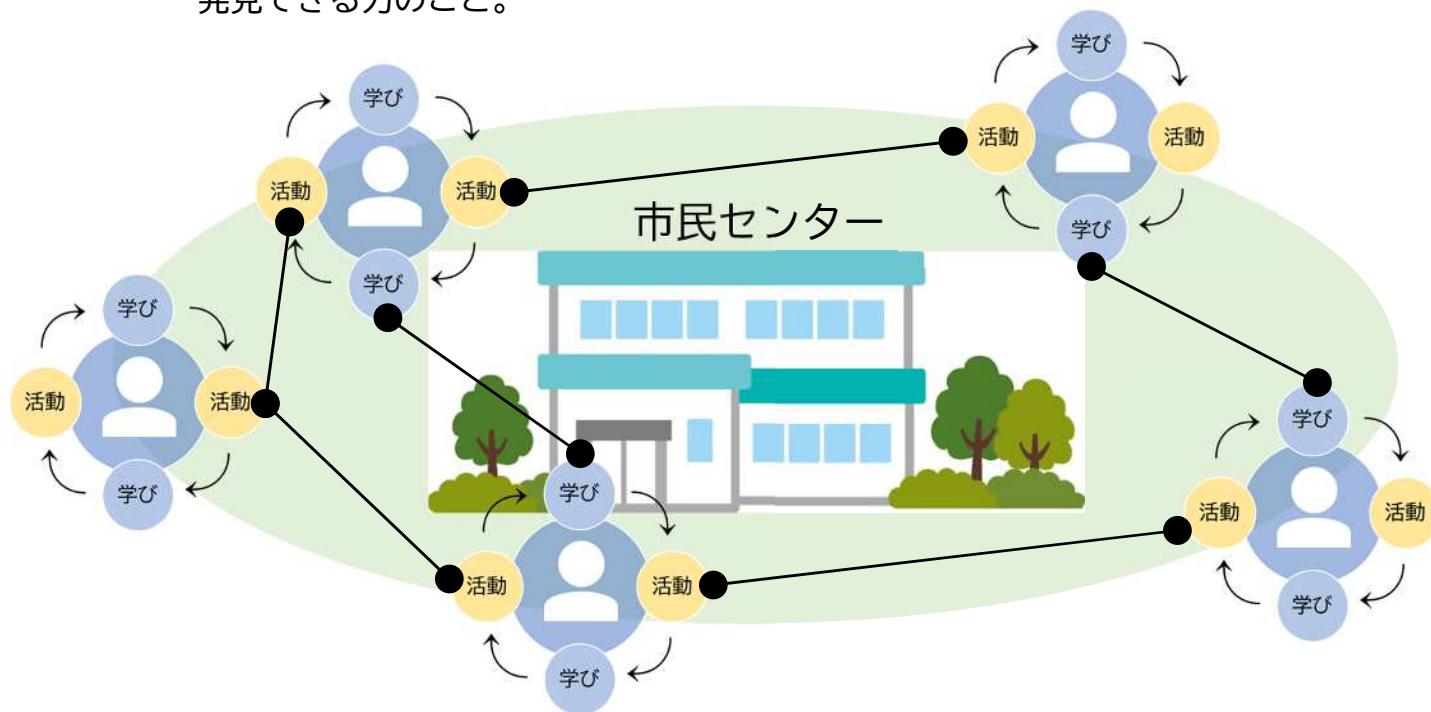
ウェルビーイング、健康寿命
レジリエンス、孤独・孤立
社会的処方

<次期推進計画の基本方針②>

持続可能な地域づくりに向けた地域力の育成

- 地域づくり・人づくりのための市民センター事業の推進
- 社会関係資本の視点に基づいた事業を通じた地域力の育成
- “学び”と“活動”を通じたつながりづくり・コミュニティの醸成の推進
- 多様な世代がつどい・学ぶ機会の創出

※「地域力」とは、地域課題の解決だけでなく、課題を発生させない、課題を早期発見できる力のこと。



<キーワード>

市民センター

人とのつながり、社会とのかかわり

こどもまんなか、多世代交流

地域全体のウェルビーイング

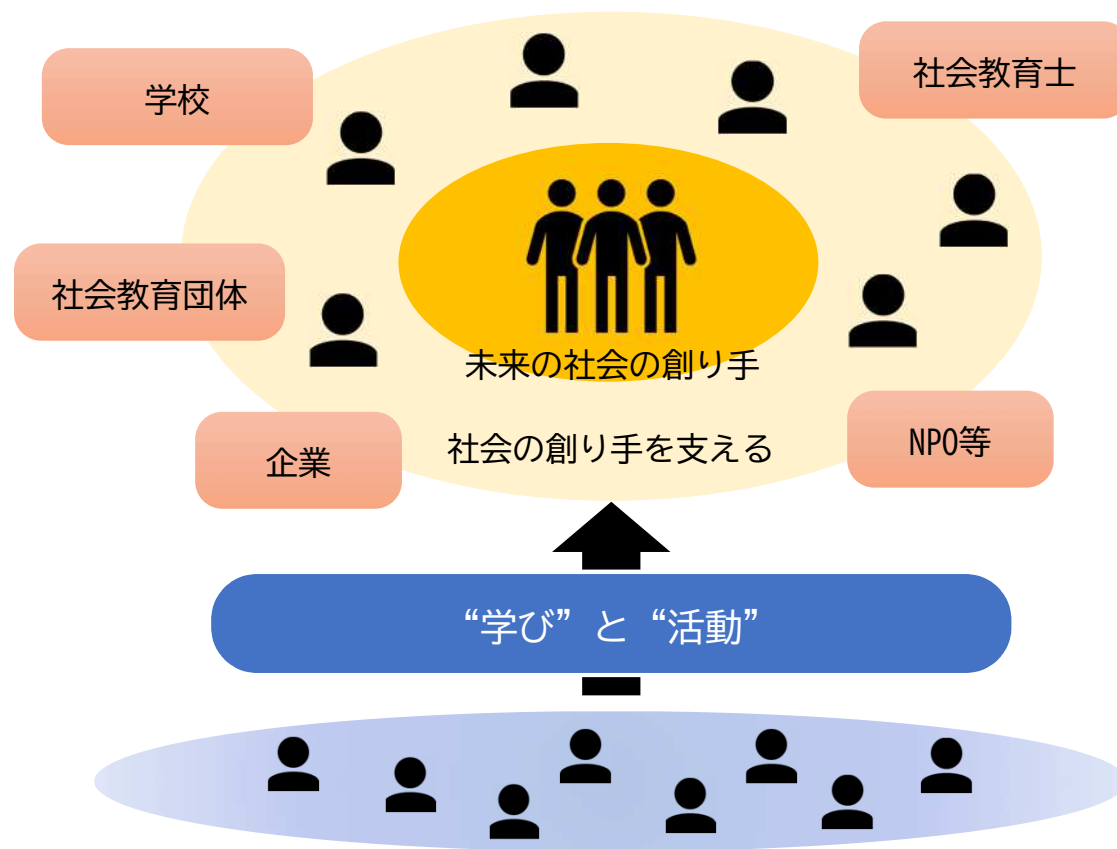
社会関係資本※

※社会関係資本（ソーシャルキャピタル）
社会的な繋がり（ネットワーク）とそこから生まれる規範・信頼）

<次期推進計画の基本方針③>

未来の社会の創り手を育て・支える人材の育成

- 未来の社会の創り手となる多様な人材の育成
- “学び”と“活動”を通じて、地域で未来の社会の創り手を育成・支援する人材の育成
- 社会教育団体や社会教育士等の地域の学びを支え・促進する団体等との連携強化



<キーワード>

未来の社会の創り手・支援者の育成
社会教育士
多様な主体との連携
学校（コミュニティ・スクール）
地域デビュー

【グループでの意見交換】

次期推進計画の説明を受けて、以下の項目を参考に各グループで意見交換をお願いします。

- ・ 説明を受けた全体的な感想
- ・ 次期推進計画策定の方向性について
- ・ 次期推進計画が目指すまちの未来について
- ・ 次期推進計画のコンセプトについて
- ・ 次期推進計画の基本方針について

【社会的背景】

- VUCAの時代の到来
- 人生100年時代の到来
- 地域コミュニティの衰退、課題の多様化・顕在化

【進行する社会課題】

- 低い幸福度
22か国中最下位（2025年ハーバード大学調査）
- 孤独・孤立化の進展
・4～5割の人が孤独を感じる社会（人々のつながりに関する基礎調査）
・2040年、単身世帯は約40%に
- 既存コミュニティの弱体化
自治会・町内会の加入率の低下（北九州市では30年で約40%減）、PTAの弱体化

【「学び」のニーズ】

- いつでも、どこでも、気軽に学びたい
生涯を通じて学び続けられる環境を
- 変化の激しい社会に対応していきたい
キャリアアップ、スキルアップのための学びの機会を
- 豊かな人生を送りたい
学びや健康づくり、多様な人につながる機会を

【「学び」の現状】

- 身近に学ぶ機会・場がない
学習機会が充実していると感じているのは48.1%
- 学びたいけれど時間がない
学習していない理由の75.3%は「時間がない」
- 学んだ成果を生かす機会・場がない
学習成果を生かしているのは32.1%
- 学ぶ機会、学んだ成果を生かす機会に関する情報が少ない
生涯学習に関する情報を得ていると感じているのは36.4%

※R6市政モニターアンケートより

【目指す未来】

学びと活動を通じて、市民一人ひとり
・地域コミュニティ全体の力が引き出され、
「彩り」にあふれ、「安らぎ」が満ちるまち

【変革点】

学びを身近に
学びと活動で幸せに
「知らない・誰か」のことを
「私たちごと」に

【次期計画のポイント】

- ①地域コミュニティビジョンと歩調を合わせた長期的な視点での策定
- ②企業、NPO、学生、社会教育士等の多様な力を生かした学びと活動の推進
- ③AIやオンラインを活用した生涯を通じて学び続けられる仕組みづくり

次期生涯学習 推進計画

【計画のコンセプト】

“学び”と“活動”による
関係作りを通じた
多様なコミュニティの醸成

ウェルビーイングの深化を通じた
北九州市の未来を
創る人材の育成

【計画の基本方針】

自分らしく、生き生きと
暮らすことができる
“学び”と“活動”の機会の
創出の推進

持続可能な地域づくりに
向けた地域力の育成

未来の社会の創り手を
育て・支える人材の育成